

# 脳梗塞への血栓回収療法について

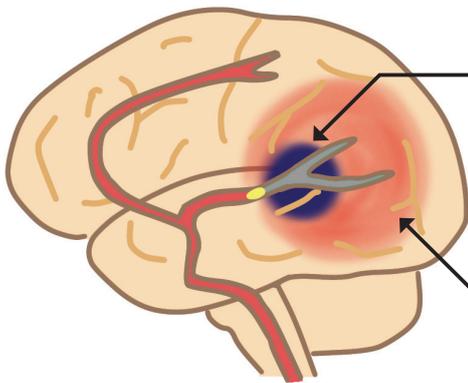
監修：筑波大学 脳卒中予防・治療学 教授 山上 宏 先生

## 治療前の画像診断

治療方針を決めるために、CTやMRIなどの画像診断で脳梗塞ができてしまった領域と助かる可能性のある領域を確認します。

脳梗塞の領域	救済可能な領域
<p>脳の血管が詰まり、血流が滞ったことにより、酸素や必要な栄養が脳に運ばれず、神経細胞が死んでしまっ て<b>助からない</b>脳の領域のことを示 します。</p>	<p>脳の血管が詰まって血がたりない状 態であるものの、治療により<b>助かる 可能性</b>のある脳の領域のことを示し ます。</p>

### 発生直後



#### 脳梗塞

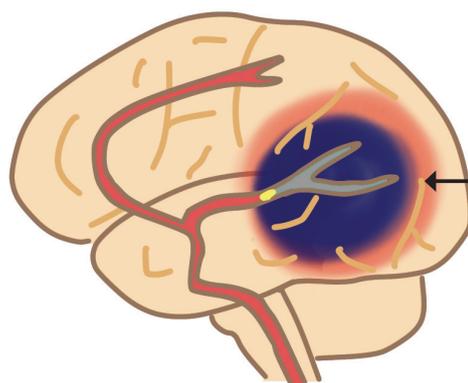
#### 助からない領域

中心部は早期にコアを形成する

血がたりない状態だが

#### 助かる可能性がある領域

### 血がたりない状態が続いた場合



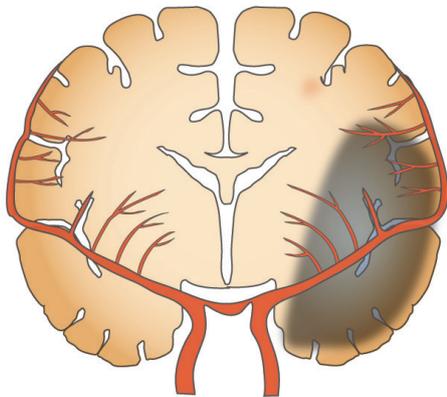
#### 脳梗塞の拡大

血がたりない状態が続くと時間  
の経過とともにコア（細胞が死ん  
で助からない部分）の範囲が拡大  
する

# 脳梗塞の種類

## 心原性脳塞栓症

流れてきた血栓が脳血管に詰まり血流が滞る

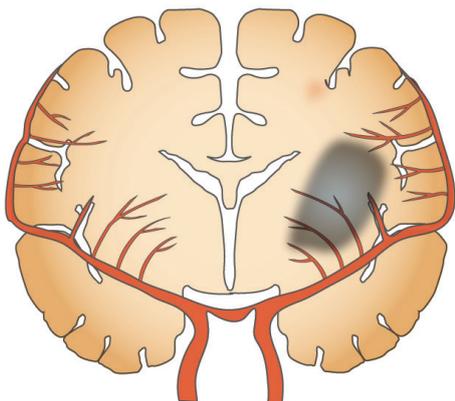


### 主な要因

- 心房細動
- 心筋症
- 心臓弁膜症
- 洞不全症候群 など

## アテローム血栓性脳梗塞

血管の壁が狭くなり血栓が血管に詰まる



### 主な要因

- 高血圧
- 脂質異常症
- 喫煙
- 糖尿病 など

※注意 その他の原因や原因不明の脳梗塞もあります。

# 脳梗塞の症状

脳梗塞には以下の症状が認められることがあります。



- 左右非対称な顔の歪み

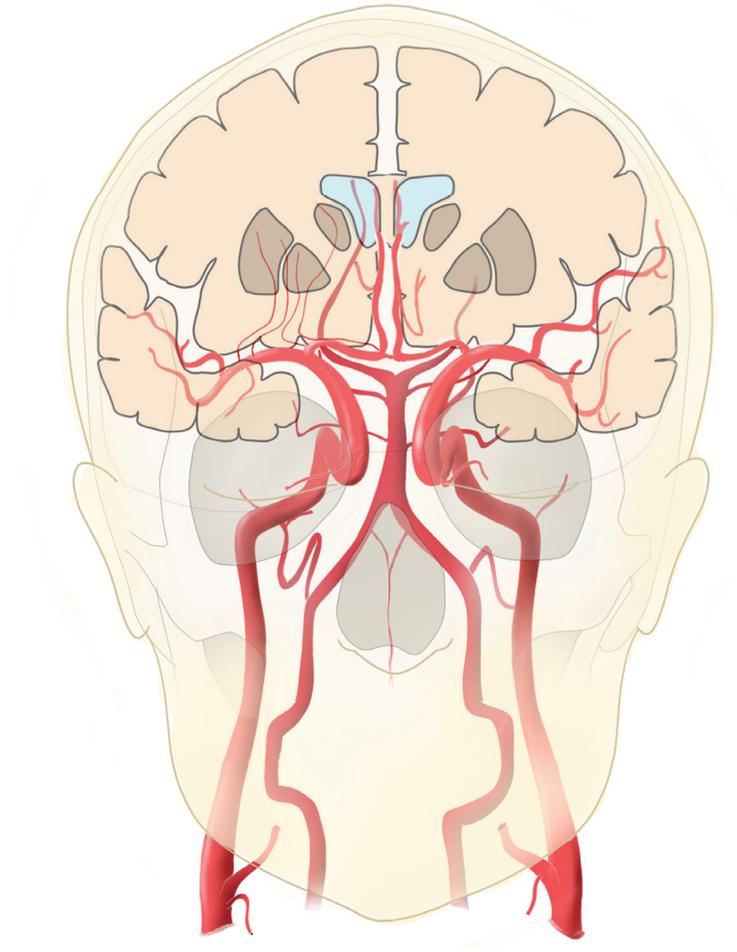


- 上肢挙上困難
- しびれ 片麻痺

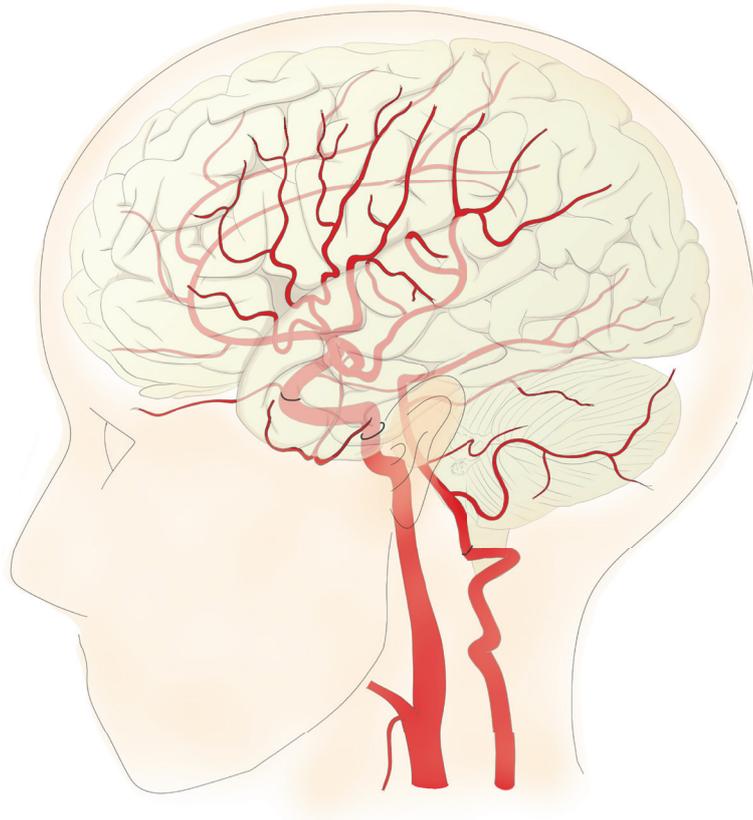


- 呂律が回らない構音障害
- 復唱や話を理解することが難しい失語や失認

## 正面からみた脳の血管



## 側面からみた脳の血管



# 血栓回収療法

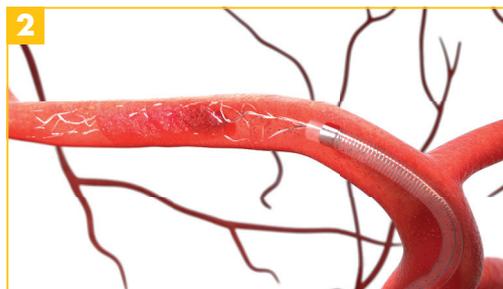
## ● スtent リトリーバー

ステント リトリーバー(金属製の網目状の筒)とは、脳血管に詰まった血栓を捕捉し、体外へ取り出すための医療機器です。カテーテルと呼ばれる細い管を通して使用されます。

### ステント リトリーバーを用いた治療の流れ



1 カテーテルを通してステントを血栓が詰まった部位まで進める



2 ステントで血栓を捕捉する



3 血栓を体外に取り出す

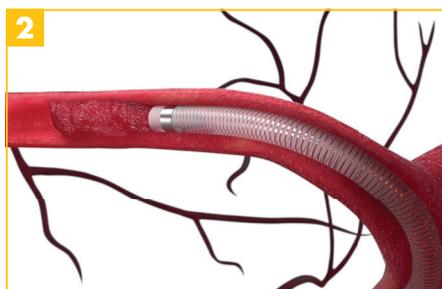
## ● 血栓吸引カテーテル

血栓吸引カテーテルとは、血栓をカテーテル内に吸い込んで体外に取り出す医療機器です。吸引する際は、ポンプやシリンジと一緒に使用されます。

### 血栓吸引カテーテルを用いた治療の流れ



1 血栓が詰まった部位まで血栓吸引カテーテルを進める



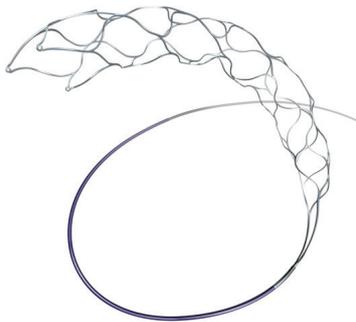
2 血栓を吸い込み体外に取り出す



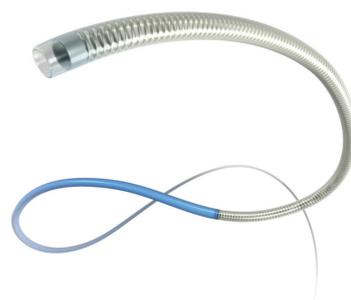
吸引に使用するポンプ



実際にとれた血栓



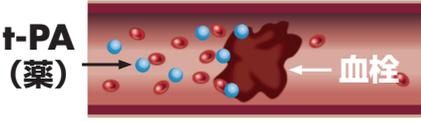
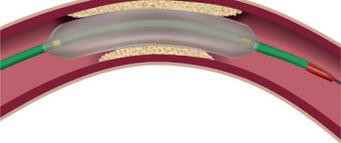
ステントリトリーバー



血栓吸引カテーテル

## ● その他の治療方法

医師の判断により下記の治療方法が選択されることもあります。

t-PAの点滴	血管形成術	ステント留置術
t-PAという血の塊を溶かす薬を使う治療法	バルーンで狭窄した血管を広げる治療法	ステントを血管内に留置し血管を広げる治療法
		

## ● 発生する可能性のある合併症

- 造影剤による腎臓の機能の低下やアナフィラキシーショック
- 血管内に器具を入れることによる穿孔(血管が破れること)に伴う出血
- 他の血管が詰まってしまうことに伴う新たな脳梗塞
- 穿刺部(カテーテルを挿入する場所)からの出血

## 脳梗塞の後遺症と合併症

脳梗塞を発症した場合、後遺症や合併症が起こる可能性があります。

**主な後遺症** ※脳梗塞が発生した部位によって症状は異なります。

<b>運動麻痺</b>	片側の手足に麻痺が残り、立ったり歩いたりすることができなくなる状態。呂律が回らず、うまく話せなくなる。
<b>感覚障害</b>	半身のしびれや痛み、感覚の低下
<b>嚥下障害</b>	水や食べ物をうまく飲み込めない症状のこと
<b>高次脳機能障害</b>	物の使い方がわからなくなったり、空間の認識ができなくなったりする。 失語や認知機能の障害

## 主な合併症

<b>誤嚥性肺炎</b>	飲み込む力が弱くなることで唾液や飲食したものが気管に入ることが原因で発症する肺炎
<b>床ずれ</b>	寝たきりなどにより圧迫された部位の血流が滞り生じる皮膚の損傷
<b>深部静脈血栓症</b>	活動量の低下により血流が滞り生じる静脈血栓症
<b>心血管系の疾患</b>	虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞心不全、不整脈など)

これらの後遺症や合併症はリハビリテーションを行うことで改善、予防することができます。そのためリハビリテーションは治療後の患者にとって大切な役割を果たします。

# リハビリテーション ～身体機能の低下予防と回復～

## 急性期 (発症～2週間ほど)

早期の日常生活動作の改善や、活動量の低下による合併症の発生を予防するために、可能な限り早い段階でリハビリテーションを開始します。

## 回復期 (数週間～数か月)

状態が安定するとリハビリテーション病院への転院が検討されます。  
身体機能をできるだけ回復させるために集中的なリハビリテーションを行います。理学療法や作業療法、言語聴覚療法といった訓練を行います。

## 生活期 (回復期以降)

自宅や施設での生活に移行しますが、回復した機能の維持、改善、社会復帰を目的としてリハビリテーションは継続されます。外来や通所、訪問といった方法があります。

**主治医の指示に従い、内服やリハビリテーションを継続しながら  
より健康な生活習慣を身につけ  
将来の脳梗塞の再発を予防していきましょう。**

この印刷物はストライカーの製品を掲載しています。全てのストライカー製品は、ご使用前にその添付文書・製品ラベルをご参照ください。この印刷物に掲載の仕様・形状は改良等の理由により、予告なしに変更されることがあります。ストライカー製品についてご不明な点がございましたら、弊社までお問合せください。

Stryker or its affiliated entities own, use, or have applied for the following trademarks or service marks: Stryker. All other trademarks are trademarks of their respective owners or holders.

The absence of a product, feature, or service name, or logo from this list does not constitute a waiver of Stryker's trademark or other intellectual property rights concerning that name or logo.

Literature Number: 2402/83010/W  
KM/CO 0m 02/24

Printed in Japan

製造販売元

日本ストライカー株式会社

112-0004 東京都文京区後楽 2-6-1 飯田橋ファーストワー  
tel:03-6894-0000

[www.stryker.com/jp](http://www.stryker.com/jp)